

蟠 育 つ

染 谷 秀 雄

破れたる蛇籠を抜けて寒の水
うすうすと水に馴染みて初氷
籌目の跡整然と梅蓄
霜除の筵の乾く小橋かな
鯉寄するたび動きけり浮氷
梅日和布施弁天の遠太鼓
置石に水の流れや蟠棲めり
わづかなる道あり蟠の動かざる
うすうすと途切れ途切れに蟠の道
囲はれしところを外れ名草の芽